

みるる映画会

みるるでは映画会を開催しています。ご家族やお友達を誘って是非お越しください。事前申し込み制ですので、ご希望の方はお電話または窓口にてお申込みください。

1月の映画会

「アートのお値段」

1月20日(金) 19:00～(98分)
定員 20名

映画紹介

バスキア・リヒターなど、なぜ現代美術が億単位で売れるのか？アートの値段って何だろう？誰もが抱く疑問を美術界の有力者たちにダイレクトに投げかけながら、アートとお金の関係を探るドキュメンタリー。

※状況により、予告なく内容が変更・中止になる場合がございます。

森詠さん講演会 「那須少年記」の時代

黒磯ゆかりの文人作家たちについて
私は、なぜ、作家になったのか

2月11日(土) 13:30-17:00

※13:00より開場します。

那須塩原市図書館みるる ホール

定員 30名 / 参加費無料

電話が窓口にて事前申し込み

お問い合わせ TEL0287-63-9031

講師プロフィール

森詠 (もりえい)

幼少期から高校卒業まで那須郡・旧黒磯町で過ごす。黒磯高等学校、東京外国語大学を卒業後、ジャーナリストとして活躍。1978年「黒の機関」で作家デビュー。青春小説、冒険小説、時代小説などの多方面の小説で人気を博す。1994年に自伝的小説「オサム朝(あした)」で坪田譲治文学賞受賞。

(那須塩原市 HP より引用 2022.11.17)

みるる通信 第17号

Miruru Tsuyshin vol.17

発行：那須塩原市図書館 みるる
那須塩原市本町1番1号 / TEL 0287-63-9031
開館時間 平日 10:00-21:00
土日祝 10:00-18:00
休館日 毎週月曜日(ただし祝日の場合は開館、翌平日が休館)

2023年も様々な
アート展示を開催します!

舞い踊る伝承

—那須地域の獅子舞・城嶽舞・念仏踊り—
in みるる

1月6日(金) > 1月27日(金) ラボ1

10:00-18:00 ※最終日は13:00まで

2021年に那須野が原博物館で開催された同展の解説パネルと三本木の獅子舞(衣装等)を展示します。城嶽舞・獅子舞・念仏踊りなど那須地域に継承される民俗芸能の由来や形態、演目などをご紹介します。



© 那須野が原博物館

アクティブ・レンジャー写真展 —アクティブ・レンジャーが見つめる世界—

2月14日(水) > 2月26日(日)

10:00-18:00 ラボ1

島民の手厚い保護で復活した佐渡島のトキの群れ、都心から遥か1,000kmの小笠原諸島の青い海……。環境省 関東地方事務局管内の自然を管理するアクティブ・レンジャーだからこそ撮影できる野性の生き物たちや大自然の写真を展示します。



© 環境省 関東地方環境事務局

1月 2023						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※年末年始(12/31~1/3)は休館致します。

※上記の他に、臨時休館する場合がございます。詳しくはホームページまたは館内のお知らせをご覧ください。

2月 2023						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

みるるで映画を楽しもう!

1階 A

映画に関連する本をお探しの方は1階Aをご覧ください。映像化コーナーでは、映画やドラマになった本を展示しています。毎月変わる紹介ポップにも注目です。



1階 A

さらに、NHKで放送される大河ドラマに関する本も展示しています。当時の時代背景や人物のことを知り、より深くドラマの世界を楽しめます。



2階 DVDコーナー

2階レファレンスカウンター横にはDVDコーナーがあります。日本の作品や海外の作品、子ども向けのアニメなど1000点以上を所蔵しています。エレベーターのすぐ隣は新着DVDのコーナーです。年間約60点の新着DVDが追加されます。本と一緒にDVDの貸出もいかがでしょうか。ぜひお気軽にご利用ください。

※DVDはディスクの入っていない状態で棚に並んでいます。貸出の際はケースを2階レファレンスカウンターにお持ちください。



New

1階の小さな本棚のエキシビションがリニューアルしました!

1階F

小さな本棚のエキシビション
「なぜ人はたたかうのか」



1階B

小さな本棚のエキシビション
「ミニマルアートともの派の違い」



1階E

小さな本棚のエキシビション
「新しい人間の生活3.0」



小さな本棚のエキシビション

- 1階U 「那須塩原の次世代エネルギーを考える」
- 1階F 「なぜ人はたたかうのか」
- 1階E 「新しい人間の生活3.0」
- 1階B 「世界のアートフェスティバル」
「大黒屋文庫」
「ミニマルアートともの派の違い」

みるる 豆知識 vol.2

みるるの名前の由来

平成30年(2018年)まちなか交流センターと駅前図書館の愛称の公募をしたところ、全国から376件の応募が集まりました。審査の結果、市内在住の小学生(当時)の応募作品「みるる」と「くるる」が選ばれました。選ばれた理由は「みる(見る)」と「くる(来る)」から「ミルク」を連想させ、本市の生乳PRやアートを活かしたまちづくり戦略「ART369(ミルク)プロジェクト」の事業展開にも繋がる名前だと考えられたからです。響きも愛らしく、年齢を問わず親しみやすい良い名前だと思いませんか?